

# 甲冑づくりは地域づくり

## 赤松手づくり鎧かぶとの会

基本データ

平成26年結成。幼稚園跡を「手作りよろい工房」（上郡町岩木乙585）として活用し、手作り甲冑教室を開催している。地道な活動で参加メンバーは100名を超え、甲冑保有数も約200体となった。

連絡先

住所：赤穂郡上郡町苔縄67（赤松公民館）

TEL：0791-52-4605

<https://yoroikabuto.k-akamatsu.com>



上林会長（写真左）、古正前会長

### 要点

- 鎧かぶとはすべて厚紙などを使った手作り
- 11月の「白旗城祭り」では鎧かぶとが赤松地区を彩る
- 鎧かぶと作りが地域内外の交流の輪を広げる

#### — 「鎧かぶと」を手作りする想いとは

毎年11月、上郡町赤松地区には鎧かぶとを身にまとった武者が集結し、行列を作って練り歩く。色とりどりの鎧かぶとは、どれも本物に見えるが、厚紙などを使って手作りされたものだ。定年退職を機に教室に通い半年かけて作った人、子供や孫のために心を込めて作った人、鎧かぶと作りに魅了されて沢山作っている人…それぞれが様々な想いで作った鎧かぶとが歴史と伝統ある赤松地区を彩る。



鎧かぶとの制作の様子

#### — 具体的な活動と今後の展望は

「最初は白旗城祭りを盛り上げたいと始めた鎧かぶと作りが、今は地域づくりの礎も担っている」と語るメンバー。皆で集まって難しい作業をすることで地域の人と人とのつながりが生まれている。最近では町外のイベントにも呼ばれ、様々な市町と交流の輪も広がった。赤松地区の受験生には「落ちない城」のお守りとして、合格祈願絵馬もプレゼントしている。地域の歴史と誇りを次の世代にも伝える活動は地域の「石垣づくり」となっている。



例年11月に開催される「白旗城祭り」。丹精込めて作った鎧かぶとが赤松地区を彩る

### 感想

鎧かぶと作りが交流を生み出し、まちづくりに繋がっているというお話は、どの地域にも参考になると思います。制作には時間を要するとのことですが、やりがいがあり夢中になっているというお話も印象的でした。